

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

# ちばの地域福祉

## 中核地域生活支援センターの展望

中核地域生活支援センターほっとねっと  
理事長 和田忠志

中核地域生活支援センター（以下「中核センター」）は千葉県独自の事業であり、相談支援活動、権利侵害対応活動、地域社会づくりまでを視野に入れた活動を行う。千葉県内に13箇所設置されている。その特性は「包括的な」ソーシャルワークであり、知的・身体・精神・高齢などあらゆる障害に関する相談支援、虐待対応などを24時間対応で行う。堂本暁子知事の下での「健康福祉千葉方式」で中核センターは生まれたが、本事業が現在も森田健作（鈴木栄治）知事のもとで継続され、地域により根ざしつつ発展していることは、現県政の見識を表すものとして高く評価できる。

この事業は厚生労働省に影響を与え、それをモデルとして「地域包括支援センター」が介護保険法改正時にできたことは周知である。しかし、もとより制度はいかに改良しようとも不完全であり、その後も、制度の隙間にいる人を支援する役割を中核センターが担ってきたことは、千葉県の財産であり誇りである。中核センター事業を学びたいと考える他県も多いと聞く。

このたび、千葉県より「中核センター事業を将来的に市町村に移管したい」意向が示されたと聞く。私は、実は、中核センターが県内に13箇所しかなく、それゆえ広域を対象とせざるを得ず、「身近な相談支援窓口」となりえていないことを残念に思っていた。制度の隙間を埋めて無理な思いをしている人を支援し、虐待に抵抗し、地域づくりにまで関与する水準の高い支援事業所が千葉県の至る所にあるべきと考えてきた。その意味で、この中核センターが市町村の数だけ存在すれば、大きな進歩である。ただ、危惧する点は、その事業所が、県の事業所であっても市町村の事業所であってもよいが、中核センターの実践蓄積をより発展させ、現在と同等かそれ以上の良質で包括的な支援活動を行う事業所を県内各地につくることが、なんとしても必要だということである。それは必ずしも平坦な道ではないと思うが、千葉県の今後の福祉向上のためにぜひ成し遂げたいことである。

# ちば・元気印！～こんなひと、見つけた～

## 「NPO法人 リーブ」 理事長 勝田 文典 氏

前職で知的障害者授産施設に所属し、就労支援の業務を担当していました。利用者の方の多くは、就職を希望し、単身生活を望んでました。しかし、今までの支援の経験から、単身生活をしながら就職を継続していくことは現実にはかなり難しい問題となっていました。そこで、生活面をきちんとサポートできることこそ、就職が継続できるという確信のもと、平成16年に法人を立ち上げたのがNPO法人就労生活定着支援センターリーブの始まりです。利用者の方のニーズに答えるために、グループホームの運営とともに、就職の機会を待っている方にも地域での生活が送れるよう日中活動の場として小規模福祉作業所を運営してきました。

現在リーブでは、障害者自立支援法に基づき、一人ひとりの力に合わせて活動ができるように、多機能型の就労支援事業を展開しています。今後、一般就労が難しい方に向けて、なるべく高い工賃を支払えるような就労継続支援A型を増やしていきたいと思っています。

リーブの中心にある当事者の自治会活動「リーブたびだちの会」は、30年に渡る就労支援に携わってきた中で、同じ目線で共感できる仲間存在の重要性に着目し創設した当事者の会です。事業計画から企画、準備、事業報告まで全て当事者が自分たちで行っています。自分たちが企画をした行事で参加者が楽しんでくれたことにみなさん喜びを感じ、達成感がある様子です。

また、卓球、バスケットボール、ボーリングのクラブがあります。リーブで大切にしていることは、障害を持った方たちだけの活動にしないことです。練習や大会では、地域の方々が参加しているものに参加しています。“スポーツ”という共通の話題を通して、地域との交流をさらに深めていきたいと思っています。リーブたびだちの会での発表後や、スポーツ大会後の打ち上げが、スタッフ共々恒例となっています。打ち上げでは、普段見せない表情を見ることができます。やっぱり余暇活動が充実していると、普段の仕事や活動も頑張れるんだと思います。地域生活を始めて、利用者の方に成長が見られます。“おこづかい”から“生活費”という、金銭感覚が身に付いてきました。

**リーブのモットーは、地域生活の主役は利用者一人ひとり。  
それを職員は黒子のように支える。その中で、職員も楽しむ！**



取材当日にいらっしゃったリーブのみなさん

事業所名 ■ 特定非営利活動法人 就労生活定着支援センターリーブ  
住所(法人本部) ■ 〒299-0246 千葉県袖ケ浦市長浦駅前6丁目21番地1  
活動内容 ■ <就労支援室>  
就労サポートリーブ：就労移行支援・就労継続支援B型・生活訓練  
リーブカンパニー：就労継続支援A型  
<共同生活支援室> グループホーム・ケアホームの一体型  
<地域生活支援>  
リーブたびだちの会（当事者の自治会活動）  
たびだちBBC（IDバスケットボールクラブ）  
びリーブ（ID卓球クラブ）、リボール（IDボウリングクラブ）  
TEL ■ 0438-60-2662 FAX ■ 0438-60-2663



## ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

### 第10回 千葉県障害者グループホーム講座（海匝・山武圏域） 「グループホームスタッフと考える」～地域生活の再認識～

グループホーム等で生活している入居者を支える皆さん。

地域での生活とその支援について考え、地域生活とは何かを再認識していきましょう。

〔内容〕 1. 講演「地域生活の再認識」

牧野 賢一 氏（社会福祉法人 湘南福祉センター 下宿屋ホーム長）

米田 光晴 氏（社会福祉法人 湘南福祉センター 下宿屋入居者）

浅田 真弓 氏（同上）

2. グループディスカッション「グループホームスタッフと考える」

入居者は、グループホームにどのような支援を求め、スタッフはどのように支援していったらよいのかを、参加者みんなで考えていきましょう。

コーディネーター：米田 光晴 氏、浅田 真弓 氏    アドバイザー：牧野 賢一 氏

〔日時〕 平成24年1月12日（木）10:30～15:00（昼休憩 12:30～13:30）

〔会場〕 匝瑳市民ふれあいセンター（匝瑳市八日市場ハ 793-35）    〔参加費〕 無料

〔申込み〕 お名前、ご住所、電話番号、所属、職種、手話通訳や車椅子用席等、必要な支援がございましたら

ご記入の上、下記お問い合わせ先に電話または、FAXでお知らせください。 **※平成24年1月6日（金）締切り**

〔問い合わせ先〕 海匝圏域グループホーム等支援ワーカー（庄司）

TEL:0479-60-2578    FAX: 0479-60-2579

### 多重債務問題は他人事ではありません！ 「事例から学ぶ～こんな事例もありました！～」

日頃から多くの相談に対応している消費生活相談員、弁護士、VAIC-CCIの相談員をパネラーにむかえ、知識がなかったために巻き込まれてしまったケースや騙されてしまったケースなどを紹介します。

〔内容〕 10:00～10:30 概要説明

10:30～12:30 パネルディスカッション「事例から学ぶ～こんな事例もありました！～」

パネラー 弁護士 徳彦 氏（千葉県弁護士会消費問題委員会委員長）

常岡 久寿雄 氏（千葉県弁護士会消費問題委員会副委員長）

小島 勢津子 氏（千葉県消費生活相談員の会の会長）

風間 弘次 氏（VAIC-CCI相談員）

〔日時〕 平成24年1月22日（日）10:00～12:30    〔参加費〕 資料代500円

〔会場〕 生活クラブいなげビレッジ虹と風 2階 活動スペース虹（〒263-0051 千葉市稲毛区園生町1107-7）

〔申込み〕 お名前、ご連絡先、ご住所を下記、お問い合わせ先にFAXまたは、電話にてお知らせください。

〔問い合わせ先〕 特定非営利活動法人 VAIC コミュニティケア研究所（企画部 平川）

TEL:043-290-8015    FAX: 043-290-8016

## さんぶエリアネット 地域総合コーディネーター 吉井 稔

さんぶエリアネットは、地域で障害者福祉を展開する社会福祉法人ワナーホームが委託を受け、平成16年10月から山武エリアで活動を行っています。

3名のコーディネーター、1名の事務員で活動し、毎月約100名の実利用者、20件以上の新規相談に対応しています。

### 【山武エリアとは…】

2市4町（東金市・山武市・大網白里町・九十九里町・横芝光町・芝山町）の約22万人の圏域です。九十九里海岸のある海と山武杉のある山を持つ自然豊かな地域です。福祉資源や交通機関が乏しい地域ですが、エリア全体でカバーし合いながら、医療・福祉が行なわれています。

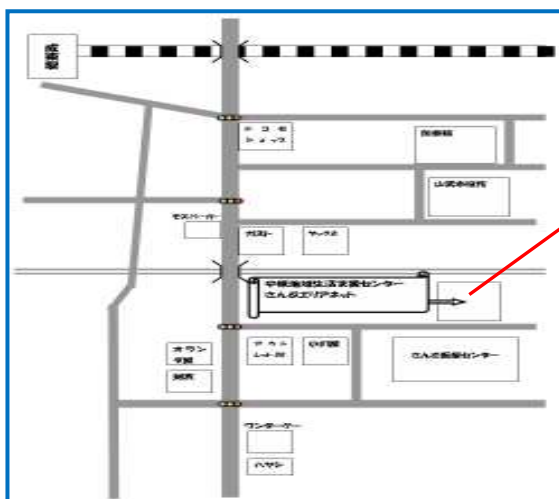
山武エリアは、自殺率が県下トップ3に入る地域であるとともに、不登校・引きこもり者が多いという特徴もあります。一筋縄ではいかない相談が多いですが、地域の支援機関とともに協働して支援にあたっています。

### 【地域づくり】

エリア全体の関係機関のネットワークづくりを意識しながら、圏域の連絡調整会議や自立支援協議会等の活動を行っています。

また、地域の活動団体に困っていることや知りたいことをそのまま講座内容とする、オーダーメイド式の出張型講座を行うなど、特徴的な地域活動を行っています。

「敷居の低い相談場所」となり、誰でも気軽に足が向く、そういった場所になれるよう、ひとつひとつの相談を大切にしながら今後も支援活動を行っていきます。



JR 成東駅徒歩13分／さんむ医療センター隣

〒289-1326 山武市成東 189-3

TEL:0475-53-5208/FAX:0475-80-2808

Eメール:sanbuarea@wanahome.or.jp

HP: <http://www.wanahome.or.jp/sanbuereanet/>

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：香取ネットワーク（香取圏域）香取市北1-11-18 TEL:0478-50-2800 FAX:0478-50-2881

編集：海匝ネットワーク（海匝圏域）旭市イの1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579

※内容についてのお問い合わせは、海匝ネットワーク（担当：丸山）までお願いします。